



「山の日」 自然公園ガイドツアー

国民の祝日「山の日(8月11日)」の理念である「山に親しむ機会を得て、地域の自然資源としての山の魅力に気づき、山の恩恵に感謝する」ことを推進するため、自然公園ガイドツアーを開催します。

ぜひこの機会に、身近にある雄大な自然に触れ、山の恵みを実感してみませんか。

No.	コース	開催日	定員	対象	備考
①	乗鞍岳市民ガイドツアー 剣ヶ峰登山	8月31日(土)	20人	小学3年生以上の市民 小中学生は保護者同伴	豊平から剣ヶ峰を目指します。
②	乗鞍岳市民ガイドツアー 豊平周辺散策	8月31日(土)	20人	小学生以上の市民 小中学生は保護者同伴	豊平周辺のお花畑などを散策します。
③	乗鞍山麓五色ヶ原の森 市民ガイドツアー	9月28日(土)	40人	小学4年生以上の市民 小中学生は保護者同伴	シラビソショートコースを巡ります(有料)。
④	秋の一之宮 <small>かおれだけ</small> 川上岳登山ツアー	10月26日(土)	20人	小学3年生以上の市民 小中学生は保護者同伴	ツメタ谷林道終点から川上岳を目指します。

【申込】 各コース開催日の10日前までに**【郵送・FAX・MAIL】**(住所、氏名(よみがな)、年齢、電話番号、参加希望コース番号、小中学生は学校名と学年を明記)

【問合せ】 環境政策推進課
☎35-3533 FAX35-3169
Mail:kankyouseisaku@city.takayama.lg.jp
広報ID 1008547

飛驒山脈ジオパーク構想 ロゴマーク募集



飛驒山脈ジオパーク推進協議会では、多くの方に飛驒山脈ジオパーク構想を知っていただくとともに、親しみを感じていただくことを目的にロゴマークを募集します。

募集作品 飛驒山脈ジオパーク構想のロゴマーク

応募条件 どなたでも

応募方法 応募用紙に必要事項を記入のうえ、ロゴマークをデザインしたA4サイズ用の紙を添付し、9月30日(月)までに窓口・**【郵送・MAIL】**
応募用紙は飛驒山脈ジオパーク推進協議会事務局で配布しているほか、**【HP】**からもダウンロードできます。

入賞作品 優秀賞1点、会長賞5点

※詳細はホームページをご覧ください。

【問合せ】 飛驒山脈ジオパーク推進協議会
☎・FAX 0578-84-0038
Mail:info@hidageo.com
広報ID 1011141

飛驒山脈ジオパーク構想 ジオサイト(第20章)

飛驒大鍾乳洞のルーツ

飛驒山脈の西方にある丹生川町日面の飛驒大鍾乳洞は、観光鍾乳洞では日本一高い標高約900mの所にあります。国内でも数少ない、ねじれて垂れた鍾乳石「ヘリクタイト」が多数見られ貴重な場所です。

鍾乳洞は、サンゴ礁を起源とする石灰岩が雨水や地下水によって溶かされて出来た洞窟です。洞内には鍾乳石などが長い年月をかけて形成されています。また、ドリリーと呼ばれる地表の窪地もあり、その多くは堅穴を通じて鍾乳洞へ繋がっています。このドリリーへ動物が落ち、化石として発見されることがあります。飛驒大鍾乳洞

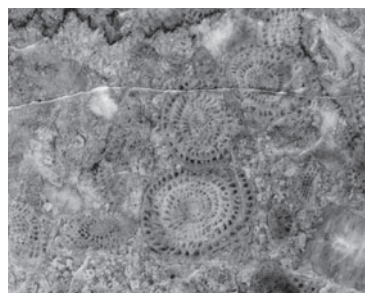
でも、新生代第四紀更新世(約250万~1万年前)の哺乳類化石が発見されています。

周辺の石灰岩からは、ウミユリ(ヒトデやウニの仲間)やフズリナ(らせん状の殻を持つプランクトンの仲間)(写真)やサンゴ類等の化石が産出します。それらの年代を調べると、古生代ペルム紀前期(約2億7千万年前)で、サンゴ礁の海に生息していた生物と推定されています。

また、共に産する腕足類(二枚貝によく似た軟体動物)を調べると、遠く離れた北米のテキサス州西部と同じ種類が産出する事が分かりました。なぜでしょうか。この付近の地質は、美濃帯と呼ばれる広大な地質帯の一部で、海洋プレート(海底の土台になる岩盤)に堆積したものが、ユーラシア大陸への沈み込みに伴って大陸縁に押しつけられ、

その後隆起してきた地層なのです。

日面周辺の石灰岩は、現在の北米西海岸沖で海底に堆積し、プレートの動きに乗って太平洋を横断し、日本列島の一部になったと推定されています。



(飛驒地学研究会 三宅幸雄)

【問合せ】 飛驒山脈ジオパーク推進協議会
☎0578-84-0038